

第2回 野洲市観光振興指針策定委員会 要約議事録

●日 時

令和3年10月6日（水） 14:00～16:00

●場 所

野洲市役所 本館3階 第1委員会室

●委 員 （全員出席 / 委員区分毎・50音順）

1号委員：田中 勝也 委員長

2号委員：木村 靖 副委員長、荒川 博行 委員、井口 幸恵 委員、川戸 良幸 委員、
北中 良幸 委員、仲谷 禎紹 委員、西田 秀孝 委員、松沢 松治 委員、吉川 文子 委員

3号委員：武内 了恵 委員

●オブザーバー 奥本 晃士 滋賀県 商工観光労働部 観光振興局 観光企画室 主幹、
進藤 武 野洲市教育委員会 文化財担当 次長

●事務局 環境経済部 西村次長、

商工観光課 行俊課長、藤村専門員、吉山専門員、田中主任

●傍聴者 無し

1. 開会 事務局（環境経済部次長）

2. 挨拶 田中 委員長 挨拶

3. 議題 「野洲市観光振興指針（案）」の検討について 事務局より資料に基づき説明

- ・今年度の野洲市観光振興指針策定委員会に係る経過を説明。
- ・5月に開催した第1回策定委員会での結果及び8月に書面照会したご意見等を踏まえて作成した指針（案）について説明。

～ 委員による意見交換 ～

4. その他 今回の委員会でご指摘いただいた部分の対応により指針（案）を再調整し、次回の第3回策定委員会に向けて進めることを確認。第3回策定委員会については、11月15日（月）の13時～15時とする。

5. 閉会 木村 副委員長 挨拶

結 果

委員の皆様は活発に議論いただいた結果、主に次の点を再検討し、第3回策定委員会にて最終の指針（案）として提示できるよう進めることとなった。

- ・課題、基本方針、基本戦略の3つの流れについて、もう少し具体化し関連性等分かりやすくする。
- ・基本方針等、観光客目線で考えられるところは記載を再検討する。
- ・全体の項目の内容と文言を精査し、野洲市を知らない人でも理解しやすい表現を検討する。

主な意見・質問

【委員長】野洲市の観光振興を早く具体化するため、第3章（基本理念や基本方針）～第4章（基本戦略や重点事業）を指針における基本の柱とする。

【委員】指針の考え方としては、基本は第3章（基本理念や基本方針）であり、それを具現化するために第4章（基本戦略や重点事業）があるということによいのか？

→【事務局】そのとおりである。

【オブザーバー】指針（案）の2ページ目の一番下にある「目指す姿」と19ページ目の基本理念のメインに記載がある「市民が楽しめる、観光客も楽しめる 地域資源を活かした観光のまちづくり」は同じであるのか？

→【事務局】基本理念は「目指すべき方向性を示すもの」としている。よって、「目指す姿」と同じ記載とした。ただし、基本理念には「目指す姿」に込めた思いを追記している。

【オブザーバー】基本戦略と重点事業との関係は？

→【事務局】基本戦略のうち重点的に進める部分を重点事業にまとめている。例えば、重点事業1「野洲市ならではの体験型観光事業」は基本戦略4「地域資源の再発見・他分野観光資源との連携促進」からの具体案であり、それぞれに関連性をもっている。

【オブザーバー】滋賀県において現在策定中のビジョンにおいて観光振興の目指すところと野洲市の目指すところは同じ方向を向いている。

【委員】びわこビジターズビューローにおいて現在策定中の中期計画においても同様に、野洲市の観光振興の目指すところと同じ方向を向いている。

【委員】基本理念や基本方針が分かりにくい。課題、基本方針、基本戦略の3つの流れについて、もう少し具体化し関連性等分かりやすくした方がよい。

【委員】基本理念は簡潔で分かりやすくなった。

一方で基本方針は抽象的な表現である。もう一步踏み込んで、親しみやすくイメージしやすい表現にした方が良い。例えば、方針1は「来たら楽しい情報発信」、方針2は外部の人にも親近感をもってもらえるように「住んでよかった観光まちづくり」、方針3は「あたり前を誇りに変える魅力向上」、方針4は「自然と文化を大切に物語と共に地域経済の活性化」などの案を考えてみた。

【委員】重点事業の1から3は大賛成である。

特に子どもたちへの教育については、まずは取り組み開始する学校を特定してまずは1校から始め、翌年度以降全体に広げると良い。

また、観光動画の作成についても賛成だが、1~2年で終わってしまうことが多い。

→【事務局】教育委員会と協議したが、例えば全校に情報提供し、学校等の判断により、また実施時期や児童生徒の学年による学習時期との調整により希望してもらう方法がある。観光担当として、観光事業者と学校とのつなぎの役割をしていきたい。

動画については観光物産協会のHPで現在掲載を始めており、この取り組みを広げたい。

【委員長】動画作成は日本語だけでなく、外国語も含めて検討すると良いのではないかと？

→【委員】一気に進めるのではなくまずは日本語から始めるべきだ。

【委員】兵主大社の御鎮座1300年記念事業として、市内業者のご厚意により、これまでの歴史等をまとめた動画を作成したが、大変効果的な事業となった。

重点事業2「市民による野洲市のよいところ発見事業」について、兵主大社において小学校・中学校への教育に関わってきた。例えば、小学校3年生の社会科見学において、動画視聴や兵主蕪を使った味噌汁の試食などを行っている、ぜひ大人にも経験してもらい、市民から観光を発信してもらえると良い。

【委員】基本方針について、1番目に「効果的な情報発信」がきているが、中身を充実させてからの情報発信ということで、まずは①観光素材のブラッシュアップ、次に②受け入れ環境の整備、その後に③情報発信の強化という流れではないかと？

また、重点事業は、最初の2年位の具体的なところを明確にした方が良い。

【副委員長】観光物産協会としてサイトを立ち上げたところ、野洲市の資源は大変多いことが分かった。

観光における窓口は協会であるが、マンパワーも場所としても体制が不十分である実態を知ってほしい。理念だけでなく、人的、予算的な支援が必要だ。

地域住民との共有のなかで、市民がまず地域資源を知ることだが、来る人の目線でも作成すると良いのではないかと？

→【委員長】事務局との協議の中で、地域の目線と観光客の目線の両方の立場で考え進めてきた。

【委員】家棟川エコ遊覧船について、地域や環境の視点で何かできないかと取り組んできた。環境に係る補助金で何とかつないできたが、収入が無いなかで、HP 等も止めないといけないような状況。明日2年ぶりに来客があり、しかもブルガリアからの来客である。インターネット上の情報を見て来て下さりありがたいが、船乗り場までの交通が整っていない。観光にはインフラが重要。指針についても、作るだけでなく、重要なのはその後実施できるかだ。

【委員】基本方針から重点事業への展開だが、もっと具体的なところを考えるべき。まだ地に足がついていないように思う。

【委員】キャンプ場やアウトドアはコロナが追い風となって好調である。

動画等での情報発信は必要である。大体はプラスの発信をしてくださっているが、一方でマイナスの発信もある。何とか「来てよかった、また来たい」と思ってもらえるような、より良いものを情報発信してほしい。

→【委員長】これから重点事業を展開するなかで、市内の成功事例として、いろいろと教示いただきたいと思う。

【委員長】次回の第3回策定委員会に向けて、課題、基本方針、基本戦略の3つについてももう少し具体化していく。また、観光客目線で考えられるところは記載を再検討する。全体の項目の内容と文言を精査し、野洲市を知らない人でも理解しやすいものにできると良い。本日いただいたご意見をできるだけ反映し、次回策定委員会にて、最終の指針（案）として提示していきたいと思う。